



2018年2月13日

各位

会社名 株式会社ユーシン
 代表者名 代表取締役社長 岡部 哉慧
 (コード番号：6985 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 経理財務本部長 田尾 和也
 Tel：03 (5401) 4660

特別損失の計上、通期連結業績予想の修正及び期末配当（無配）に関するお知らせ

最新の業績動向等を踏まえ、2017年10月13日に公表した2017年12月期の業績予想を修正しましたので、お知らせします。また、本日開催の取締役会において、2017年12月31日を基準日とする剰余金の配当を見送ることを決議しましたので、あわせて、お知らせします。

記

1. 2017年12月期通期連結業績予想値の修正（2016年12月1日～2017年12月31日）

(1) 予想値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	154,400	4,910	3,640	3,870	139円63銭
今回修正予想(B)	168,632	5,397	3,754	4,086	137円31銭
増減額(B)-(A)	14,232	487	114	216	—
増減率(%)	9.2	9.9	3.1	5.6	—
(ご参考)前期実績(2016年11月期)	153,894	3,269	2,271	△9,659	△348円52銭

(2) 修正の理由

上記のとおり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに上方修正いたします。

売上高及び営業利益の増加は、自動車部門、産業機械部門ともに日本国内、中国を中心におおむね堅調に推移したことに加えて、円が対ユーロ等について円安で推移し、円換算後の海外売上高と営業利益を押し上げたことが影響しております。経常利益は、営業外費用において為替差損が発生する一方で、支払利息等の金融費用が減少いたしました。

当期純利益については、特別損失として減損損失14億44百万円を計上しました。これは計画未達となったフランス・ヌベール工場等について、会計基準に基づき回収可能価額を見積り、減損損失を認識したものです。他方において、保有する投資有価証券の一部を売却して特別利益29億7百万円を計上しました。また、米国子会社の清算決定に伴って繰延税金資産を計上したこと等により、税金費用が減少いたしました。

2. 剰余金の配当（期末配当（無配））

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2017年10月13日公表)	前期実績 (2016年11月期)
基準日	2017年12月31日	同左	2016年11月30日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

(2) 理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題と位置づけており、安定的な配当の継続を配当方針の骨子とし、経営基盤の強化と今後の事業展開に資するため内部留保の充実を図るとともに、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本方針としております。各期の配当金につきましては、この基本方針に則り、各期における財務状況、期間損益、配当性向等を総合的に勘案して決定しております。

第116期（2017年12月期）の期末配当につきましては、2017年10月13日に公表した第3四半期決算短信において未定としておりました。上述のとおり、損益計算書については連結業績、個別業績ともに当期純利益を計上し黒字転換する見通しですが、純資産の状況に鑑み、誠に遺憾ではございますが、第116期の期末配当については見送ることとさせていただきます。なお、株主優待制度につきましては、変更ございません。

また、上記のような諸事情を勘案し、第117期の配当予想につきましても、現在のところ中間配当、期末配当ともに無配とさせていただく見込みです。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭
前期実績(2016年11月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

以上